

## 平成 30 年度 第 3 回千歳市障がい者地域自立支援協議会定例会議開催結果

<日 時> 平成 31 年 2 月 19 日(火) 10 時 00 分～10 時 45 分

<場 所> 総合福祉センター 4 階 402 号室

<出席者> 委員及び千歳市・事務局 計 23 名

【委 員】19 名(別紙名簿のとおり)

青木副会長、森委員、酒井委員、益山委員、伊東委員、佐藤(義)委員、菊池委員、岡田委員、佐藤(貞)委員、遠藤委員、宮下委員、内山委員、伊藤委員、中川委員、佐藤(靖)委員、清水委員、森本委員、田口委員、奥貫委員

※欠席(7 名)

荒会長、古田委員、横山(史)委員、藤島委員、大村委員、村部委員、富永委員

【千歳市・事務局】4 名

(千歳市)奥谷保健福祉部次長

(事務局)松田障がい者支援課長(事務局長)、佐藤自立支援係長(事務局次長)

千歳市障がい者総合支援センター 横山(真)センター長(事務局次長)

<配布資料(別添のとおり)>

(1) 千歳市からの報告

① 千歳市における地域生活支援拠点等の整備について

(2) 平成 30 年度千歳市障がい者地域自立支援協議会各部会報告

① 相談支援部会

② こども部会

③ はたらく部会

<次 第>

1 開会

2 あいさつ

<青木副会長あいさつ(要旨)>

荒会長が欠席のため、副会長である私から開会のご挨拶を申し上げます。

今年度から新たな「千歳市障がい者計画・第 5 期千歳市障がい福祉計画・第 1 期千歳市障がい児福祉計画」がスタートしているが、早いもので、3 か年計画の 1 年目が過ぎようとしている。当該計画では、国の基本指針に基づき、障害福祉サービス等の提供体制に係る様々な目標が設定されており、このうち、障がいのある人の生活を地域全体で支える仕組みとして、「地域生活支援拠点等の整備」に向けた検討を本協議会において進めていくこととされている。本日の議事では、「地域生活支援拠点等」の仕組みについての理解を深め、今後の具体的な検討につなげていきたいと考えているので、委員各位には忌憚のない意見をお願いしたい。

### 3 議題

#### (1) 千歳市からの報告

##### ① 千歳市における地域生活支援拠点等の整備について

事務局から資料に基づき説明を行った。

拠点整備に向けた現状把握や課題の抽出などの検討主体を「相談支援部会」にすることとし、検討内容については、適宜定例会議に報告し委員各位の意見を踏まえながら取組を進めていくこととした。

#### (2) 平成 30 年度千歳市障がい者地域自立支援協議会各部会活動報告

##### ① 相談支援部会(奥貫部会長)

10 月と 12 月に開催した「障がい福祉勉強会」について報告する。

10 月開催においては「就労支援」をテーマに、就労継続支援 A 型・B 型及び就労移行支援の基礎について理解を深めるため、関係事業所 3 事業所から実践報告をいただいた。参加者は 50 名であった。また、12 月の勉強会は「障がい者の住まい」をテーマとし、社会福祉法人晃裕会 稲富氏から、障がい者が利用できる居住系サービスに関するサービス体系の講義を受けたのち、居住系サービス事業所 3 事業所からの実践報告という形で開催しており、39 名の参加があった。なお、今年度最後の勉強会を 2 月 22 日に開催する。「相談支援について」をテーマに開催するので、興味がある方はぜひ参加いただきたい。

##### ② こども部会(田口部会長)

11 月に支援者向けの勉強会として学校見学会を開催した。24 名の参加のもと、南幌養護学校と千歳高等支援学校の見学を行った。参加者からは、「就学に向けての動きを知ることができて参考になった」、「学校側から個別の見学対応も可能であると聞き、学校へ相談しやすくなった」などの感想があった。

合同説明会（12 月 22 日開催）及びレッツスマイル冬（1 月 12 日開催）については、2 月 21 日の部会で振り返りを行う予定であり、次回の定例会議でその内容を報告させていただく。

##### ③ はたらく部会(佐藤部会長)

12 月 22 日に開催した合同説明会について報告する。

今年度は、こども部会と共催という形で放課後等児童デイサービス事業所などの事業説明も併せて実施した。来場者は昨年度より 23 名少ない 120 名となったが、参加者からは、「市内の就労事業所が一同に集まり、様々な話が聞けて良かった」、「今後も開催してほしい」などの感想が得られた。なお、開催時期が年末に近かったことにより来場者が減少したものと考えられることから、来年度はもう少し早い時期に開催したい。

### 4 閉会

平成30年度第3回千歳市障がい者地域自立支援協議会定例会議出欠名簿

任期：平成30年10月29日から平成32年10月28日まで

| 選考区分                            |                                | Nº                            | 所属機関・団体等                      | 委員役職・氏名       |           | 性別 | 出欠 |
|---------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|---------------|-----------|----|----|
| (1) 公 募                         | 1                              | 公募                            |                               | 森 勝 子         | 女         | 出席 |    |
|                                 | 2                              | 公募                            |                               | 古 田 聖         | 男         | 欠席 |    |
|                                 | 3                              | 公募                            |                               | 横 山 史 紀       | 男         | 欠席 |    |
| (2) 福祉、保健、医療、雇用、教育等に知識及び経験を有する者 | 4                              | 千歳公共職業安定所                     | 雇用指導官                         | 酒 井 美 智 子     | 女         | 出席 |    |
|                                 | 5                              | 北海道石狩振興局保健環境部<br>千歳地域保健室健康推進課 | 保健係長                          | 藤 島 信 一       | 男         | 欠席 |    |
|                                 | 6                              | 千歳病院                          | 精神保健福祉士                       | 益 山 桂 太 郎     | 男         | 出席 |    |
|                                 | 7                              | 社会福祉法人<br>千歳いずみ学園             | 総合施設長                         | 荒 洋 一         | 男         | 欠席 |    |
| (3) 関係機関及び団体等の代表者又は推薦を受けた者      | ア.障がい者又は障がい児の家族団体又は支援団体等       | 8                             | 千歳身体障害者福祉協会                   | 会長            | 伊 東 ミ ツ 子 | 女  | 出席 |
|                                 |                                | 9                             | 千歳聴力障害者協会                     | 会長            | 佐 藤 義 典   | 男  | 出席 |
|                                 |                                | 10                            | 千歳視覚障害者福祉協会                   | 会長            | 菊 池 悦 子   | 女  | 出席 |
|                                 |                                | 11                            | 千歳市肢体不自由児者父母の会                | 会長            | 岡 田 美 智 子 | 女  | 出席 |
|                                 |                                | 12                            | 千歳市手をつなぐ育成会                   | 理事            | 青 木 繁 雄   | 男  | 出席 |
|                                 |                                | 13                            | 千歳市つくし会                       | 会員            | 大 村 徳 子   | 女  | 欠席 |
|                                 | イ.福祉、保健、医療、雇用、教育等に関する関係機関又は団体等 | 14                            | 千歳市民生委員児童委員<br>連絡協議会          | 理事            | 佐 藤 貞     | 男  | 出席 |
|                                 |                                | 15                            | 千歳市社会福祉協議会                    | 総務課ボランティア係長   | 遠 藤 仁 利   | 男  | 出席 |
|                                 |                                | 16                            | 千歳商工会議所                       | 事務局長          | 宮 下 明     | 男  | 出席 |
|                                 |                                | 17                            | 北海道千歳高等支援学校                   | 教諭            | 内 山 敦 史   | 男  | 出席 |
|                                 |                                | 18                            | 千歳市立北進小中学校<br>(相談支援・地域連携部)    | 教諭            | 伊 藤 周 子   | 女  | 出席 |
|                                 |                                | 19                            | 北海道南幌養護学校                     | 教諭            | 中 川 道 博   | 男  | 出席 |
|                                 |                                | 20                            | 就労推進室やませみ                     | 就労推進員         | 佐 藤 靖 子   | 女  | 出席 |
|                                 | ウ.障害福祉サービス事業所等                 | 21                            | 生活介護ステーションゆみな/<br>支援センターゆみな   | 所長            | 清 水 道 代   | 女  | 出席 |
|                                 |                                | 22                            | 就労移行支援事業所ゆうび/<br>就労継続支援事業所ゆうび | 事業推進室長        | 村 部 利 典   | 男  | 欠席 |
|                                 |                                | 23                            | 青葉の杜／青葉の郷                     | 施設長           | 森 本 洋 行   | 男  | 出席 |
|                                 |                                | 24                            | サポートセンターエブリ                   | 所長            | 田 口 幹 子   | 女  | 出席 |
|                                 | エ.相談支援事業所等                     | 25                            | 千歳地域生活支援センター                  | センター長         | 奥 貫 あ い 子 | 女  | 出席 |
|                                 |                                | 26                            | 千歳市地域包括支援センター                 | 北区地域包括支援センター長 | 富 永 壮     | 男  | 欠席 |

## 千歳市における「地域生活支援拠点等」について

### 1 地域生活支援拠点等について

地域生活支援拠点とは、障がいのある人が地域で安心して暮らし続けられるよう、複数の事業所、関係機関により、居住支援を含めた様々な支援を切れ目なく提供し、障がいのある人の生活を地域全体で支援する体制を構築することである。

第５期障害福祉計画（平成 30～32 年度）の基本指針において、「地域生活支援拠点等について、平成 32 年度末までに各市町村又は各圏域に少なくとも一つの拠点等を整備する」ことが目標として示され、当市では、第５期障がい福祉計画の中で、「障がいのある人の地域生活を支援する相談・体験の機会や場の提供、専門性や地域の体制づくりなど機能の集約を行う地域生活支援拠点等について、国や北海道の動向を注視するとともに、札幌圏域における広域連携を図りながら、千歳市障がい者地域自立支援協議会などでその必要性等についての検討を進める」ことと定めている。

#### ◆整備目的

障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」に備えるとともに、地域移行を進めるため、重度障がいにも対応できる専門性を有し、地域生活において、障がい者やその家族の緊急事態の対応を図るもので、具体的には次の２つの体制を整備するものである。

- ① 緊急時の迅速・確実な相談支援の実施及び短期入所等の活用を可能とすることにより、地域における生活の安心感を担保する機能を備える。
- ② 体験の機会の提供を通じて、施設や親元から共同生活援助、一人暮らし等への生活の場の移行をしやすくする支援を提供する体制を整備する。

#### ◆必要な機能

「地域生活支援拠点」とは、居住支援のための機能、具体的には、「相談」、「体験の機会・場」、「緊急時の受入れ・対応」、「専門性」、「地域の体制づくり」の５つの機能を確保することである。

なお、５つの機能を有することが原則とされているが、地域の実情を踏まえ、必要な機能を市町村で判断し、整備を行うことが認められている。

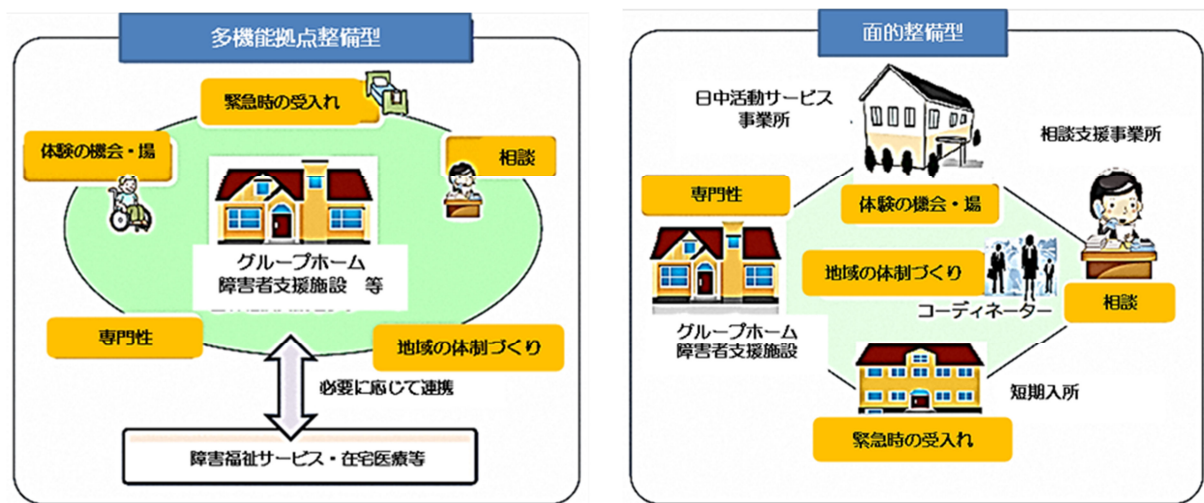


| 必要な機能         | 内 容                                                                                        |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 相談          | 基幹相談支援センター・委託相談支援事業などとともにコーディネーターを配置し、連絡体制の確保や障がい特性に起因して生じる緊急事態等におけるサービスのコーディネートなどの支援を行う機能 |
| ② 緊急時の受入れ・対応  | 短期入所を活用した緊急受入体制等を確保した上で、介護者の急病や障がい者の状態変化等の緊急時の受入れや医療機関への連絡などの必要な対応を行う機能                    |
| ③ 体験の機会・場     | 地域での自立に当たり、共同生活援助等の障害福祉サービスの利用やアパートなどでの一人暮らしの体験機会を提供する機能                                   |
| ④ 専門的人材の確保・養成 | 高齢化に伴い重度化した障がい者に対して、専門的な対応を行うことができる体制の確保や、専門的な対応ができる人材の養成を行う機能                             |
| ⑤ 地域の体制づくり    | 基幹相談支援センター、委託相談支援事業等を活用してコーディネーターを配置し、地域の様々なニーズに対応できるサービス提供体制の確保や、地域の社会資源の連携体制の構築を行う機能     |

#### ◆整備手法の類型

整備手法としては、地域における複数の機関が連携し、居住支援と地域支援機能の役割を分担する「面的整備型」と、共同生活援助（グループホーム）・障害者支援施設に地域支援機能を付加する併設型、1か所に機能を集約整備する単独型の「多機能拠点整備型」の2つパターンが例示されている。

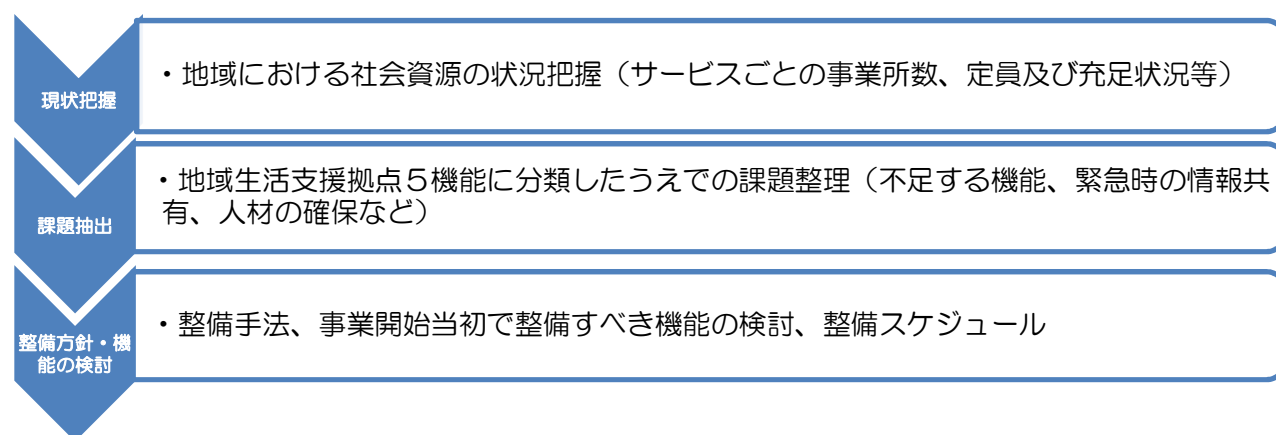
#### <地域生活支援拠点等の整備手法（イメージ）>



出典：厚生労働省

（平成 28 年 12 月 12 日地域生活支援拠点等整備促進のための全国担当者会議資料）

## 2 整備に向けた協議の進め方（案）



### ◆課題抽出（例）

| 機 能          | 現状と課題                                  | 課題解決に必要なこと                     |
|--------------|----------------------------------------|--------------------------------|
| ①相談          | ・相談体制の強化<br>・緊急時支援の速やかな情報共有            | ・拠点コーディネーターの設置、事業所間での情報共有体制の構築 |
| ②緊急時の受入れ・対応  | ・短期入所施設の充足度<br>・短期入所利用者の情報共有           | ・事前登録制度                        |
| ③体験の機会・場     | ・随時のGH空き状況の把握<br>・民間アパートの借り上げ          | ・定期的な情報提供を求めるか、取りまとめ機関の設置      |
| ④専門的人材の確保・養成 | ・高齢化・重度化、医療的ケア、強度行動障がいのある人に対する専門的人材の不足 | ・各種研修の実施                       |
| ⑤地域の体制づくり    | ・医療機関も含めた地域の社会資源の連携体制の構築               | ・連携体制の中心となる機関の設置               |

### ◆整備手法、事業開始当初で整備すべき機能の検討、整備スケジュール 検討主体をどうするか。（相談支援部会が検討主体となるケースが多い）

## 3 千歳市における地域生活支援拠点の整備方針（案）

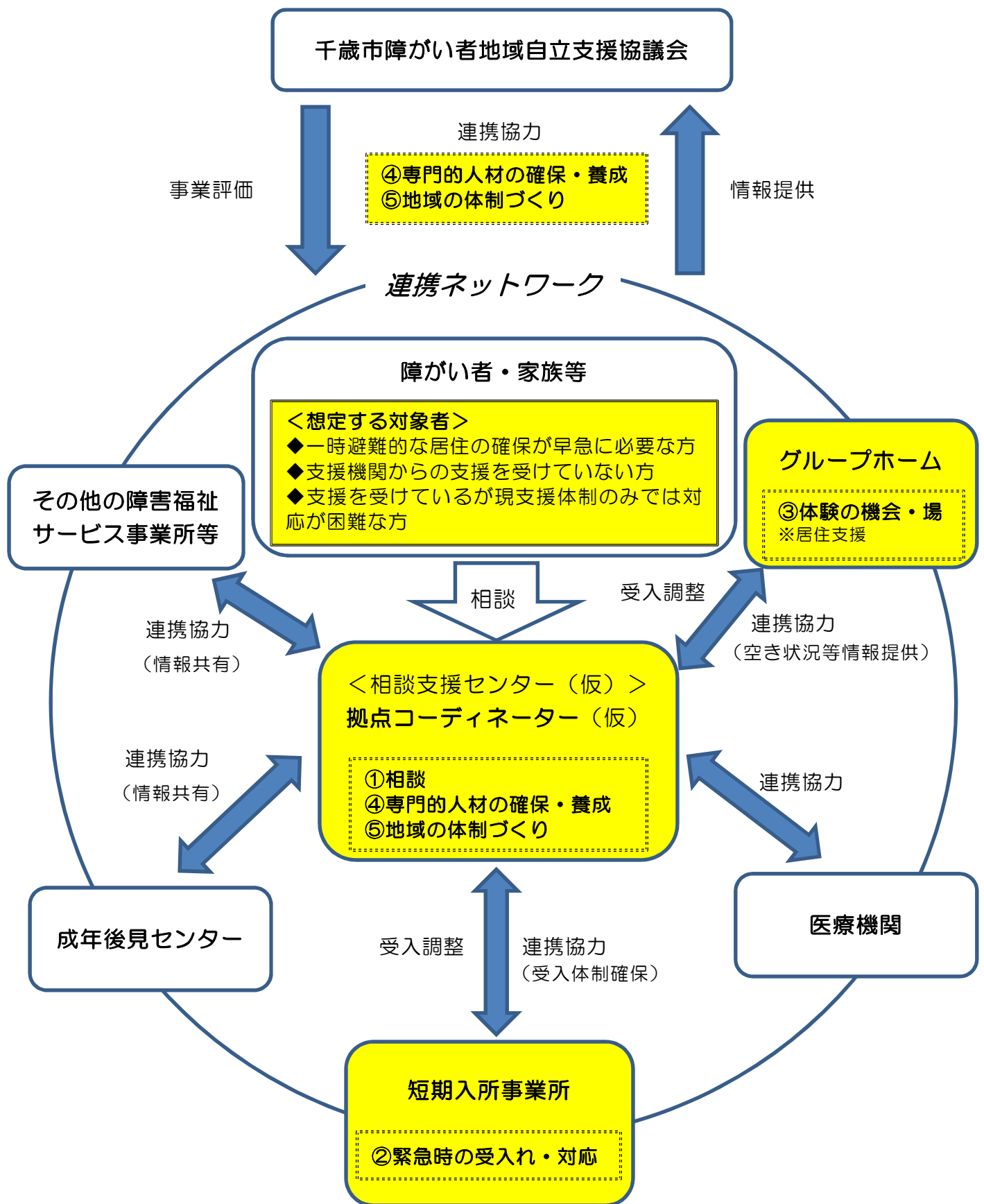
当市には、公的機関、民間事業所ともに数多くの支援機関が存在している。現状では多機能型施設の整備は見込めず、既存の支援機関間のネットワークをより強固に構築し、各機関との連携において機能を発揮することが有用であり、「面的整備型」を基本とし、既存の支援機関等と連携して地域全体で支えていく体制を作り上げるのが現実的か。

※先進市等における整備手法（平成29年4月時点（予定含む）※厚生労働省調べ）

| 整備手法の類型  | 自治体等数         |
|----------|---------------|
| 多機能拠点整備型 | 25 市町村 4 圏域   |
| 面的整備型    | 283 市町村 85 圏域 |
| 併用整備型    | 45 市町村 3 圏域   |
| 未定       | 853 市町村 49 圏域 |

整備済み（予定を除く）自治体等の数は、353 市町村・92 圏域（合計 445 か所）。このうち、「面的整備型」を採用したのは 283 市町村・85 圏域（合計 368 か所）で、**整備済み自治体等の8割以上**を占めている。

◆「面的整備型」とした場合の千歳市における地域生活支援拠点のイメージ



### ① 相談

- ワンストップの相談窓口、初期対応の相談窓口  
障がい種別に関係なく誰でも利用できるワンストップの相談窓口の機能を持っているところもある。
- 要支援者の把握や事前登録など緊急時への備え  
緊急時に支援が見込めない世帯を事前に把握するため、事前登録制を行っているところもある。

### ② 緊急時の受け入れ・対応

- 事前登録制でスムーズな受入れ  
障がい種別によっては急な受け入れが難しい場合もあるため、事前登録制や、通いながた事業所での受入れ等など、利用者の情報等を把握できる体制を整備。
- 短期入所等の活用  
短期入所等の空床を確保することで緊急時の対応に備えているところもある。

### ③ 体験の機会・場

- 日常生活を体験できるところもある  
調理、洗濯、入浴などの日常生活を切り出して体験できたり、親元から離れる経験のための宿泊体験ができるところもある。

### ④ 専門的人材の確保、養成

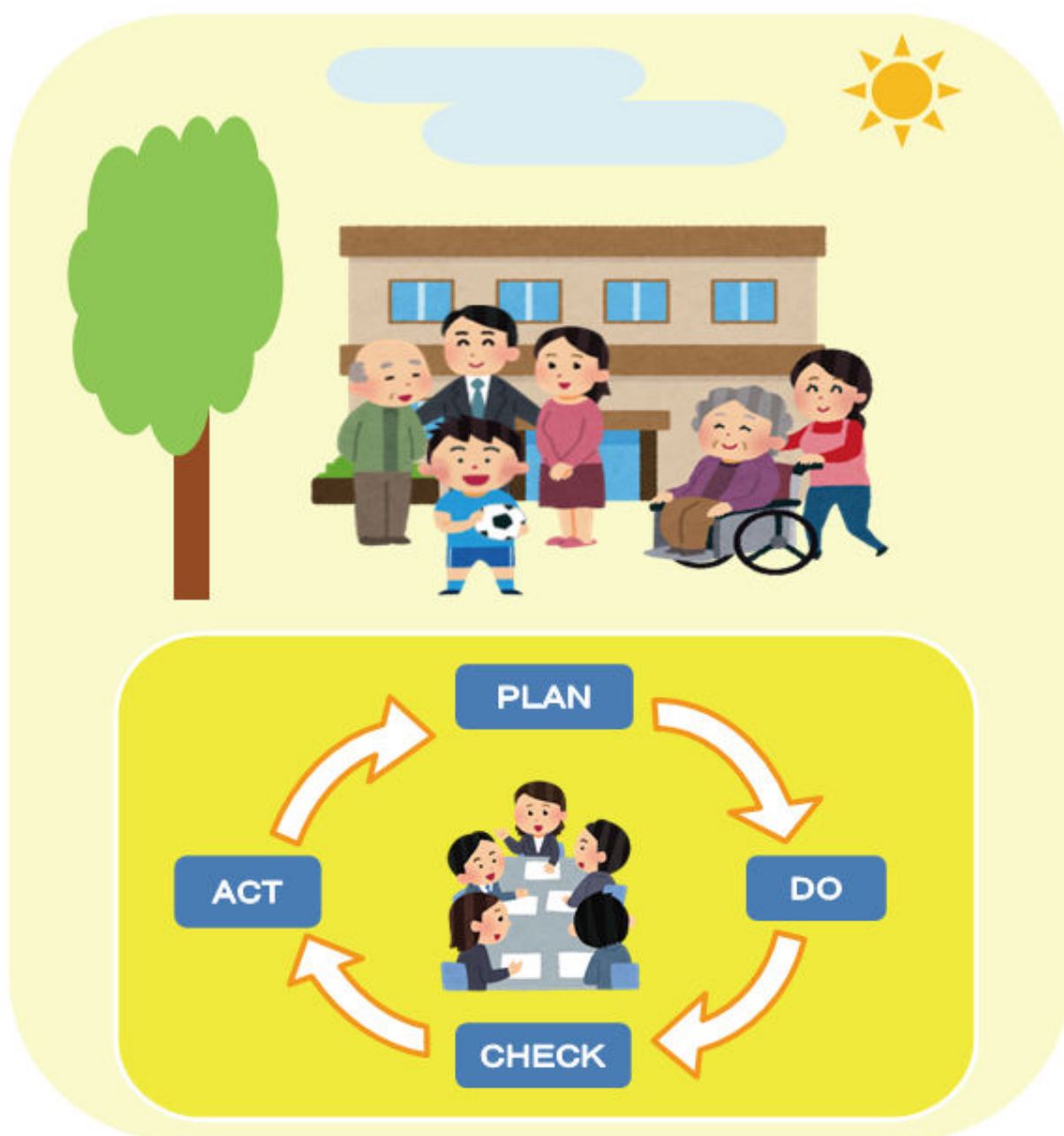
- 相談機能の充実のための研修強化  
相談機能の充実のため、事業所の職員の研修を強化。
- 専門的ケアへの対応のための研修の充実  
特に専門的ケアが必要な障害については、職員の資質向上のため、積極的に勉強会や研修会等を開催。

### ⑤ 地域の体制づくり

- 協議会の活用  
拠点等の整備、運営のために、協議会の部会に「地域生活支援拠点等部会」を設置し、事例検討を行う等の対応を行っているところもある。
- ネットワークの形成  
相談支援事業所間や、自治体内の事業所、医療機関、その他の関係機関とネットワーク化を図っているところもある。



# 地域生活支援拠点等の 好事例集



平成30年3月

## はじめに

- 地域生活支援拠点又は居住支援のための機能を備えた複数の事業所・機関による面的な体制（以下「拠点等」という。）は、障害者及び障害児（以下「障害者等」という。）の重度化・高齢化や「親亡き後」に備えるとともに、障害者等の入所施設や病院からの地域移行を進めるため、重度障害にも対応することができる専門性を有し、地域の生活で生じる障害者等やその家族の緊急事態に対応を図るものです。
- 具体的には、「緊急時の迅速・確実な相談支援の実施及び短期入所等の活用を可能とすることにより、地域における生活の安心感を担保する機能を備える」、「体験の機会の提供を通じて、施設や親元から共同生活援助、一人暮らし等への生活の場の移行をしやすい支援を提供する体制を整備することなどにより、障害者等の地域での生活を支援することを目的として、地域の実情に応じた創意工夫により整備し、障害者等の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築することを求めています。
- 地域には、障害者等を支える様々な資源が存在し、これまでも地域の障害福祉計画に基づき整備が進められているところですが、それらの間の有機的な結びつきが必ずしも十分でなく、効率的・効果的な地域生活支援体制となっていない、重症心身障害、強度行動障害や遷延性意識障害等の支援が難しい障害児者への対応が十分でないとの指摘があります。また、地域で障害者等やその家族が安心して生活するためには、緊急時にすぐに相談でき、必要に応じて緊急的な対応が図られる体制の整備が必要であるとの指摘があります。
- このため、障害者等の地域生活支援に必要な緊急対応等ができる機能について、障害者支援施設やグループホーム等への集約や必要な機能を持つ主体の連携等により、障害者等の地域生活を支援する体制の整備を行うため、拠点等の整備を推進していくことが必要です。
- 今般、地域生活支援拠点等の整備に関する実態調査（平成２７年度障害福祉サービス等報酬改定検証調査（平成２９年度調査））において、既に整備済の自治体等を中心にヒアリング等を行い、好事例としてとりまとめましたので、ご紹介いたします。

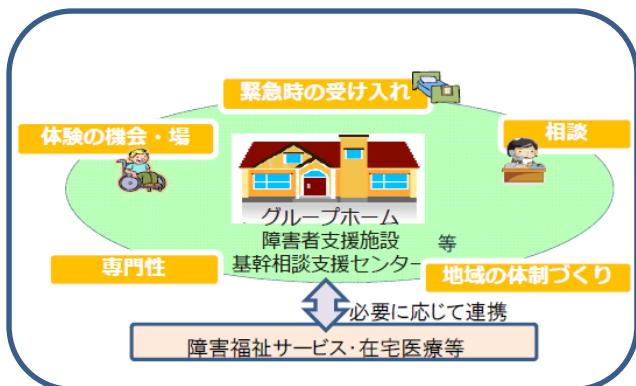
- 各自治体等におかれましては、本好事例集に収められている内容を参考に、各地域のニーズを把握し、課題の共有といった、地域分析（アセスメント）を十分に行い、“PDCA”の視点で、それぞれの自治体等において、拠点等における支援困難事例等のノウハウの蓄積・活用を図ることによって、拠点等の整備や必要な機能の強化・充実に取り組んでいただきますようお願いいたします。
- 今後、各種多様な形の拠点等の好事例が“のれん分け”され、全国に縦横的に展開されることにより、全国各地で拠点等の構築や地域の課題やニーズに応える運営が広がることを期待しております。
- なお、本好事例集の作成にあたり、本文記載の各自治体等の方々から多大なご協力をいただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

平成30年9月  
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課



## 5. 好事例から見る地域生活支援拠点等のイメージ図

### ●多機能拠点整備型



### ●面的整備型



### 傾向・特徴

#### ●比較的力のある法人を中心に整備

- ・もともと地域でさまざまな事業を展開している、比較的力のある事業所が整備しているケースが多い

#### ●ワンストップで相談から緊急対応まで可能

- ・相談から緊急時の対応まで、1か所での対応が可能であり、利用者は、相談から緊急時の対応まで同じ場所・同じ職員等が対応してくれることに安心感を感じる
- ・緊急時の受け入れ側の職員は、相談時のアセスメント情報などについて情報共有が図れ、適切な対応が可能である

### 今後の強化・充実のために

#### ●ワンストップで相談から緊急対応を維持するための地域への展開（地域の協力）

- ・常に緊急時の対応ができるよう、緊急時に受け入れた障害者をできるだけ短期間で適切なサービス等につなげることが重要であり、そのためには、拠点等の機能を地域に展開できるよう地域の協力が必要となる

#### ●相談機能の活用

- ・地域の資源等や相談と緊急対応の機能を限定活用すれば、相談機能を充実させることで、特定の地域で、障害種別ごとに対応することができる（早期にスタートしやすい）

#### ●異なる専門性を持つ事業所間の連携

- ・それぞれの専門性のある事業所が地域生活支援拠点等となり、他の事業所と連携を図ることで、全障害に対応が可能

#### ●地域の資源を有効に活用

- ・地域の様々な資源を有効に活用することで、既存の体制を生かした整備も可能
- ・地域の事業所がかかわることで、地域に一体感が形成される

### 今後の強化・充実のために

#### ●地域ごとや障害種別ごとに完結できる体制のネットワーク化

- ・特定の障害種別で相談から緊急対応までを行い、さらに事業所間の連携を可能とするために、全体をカバーできるようネットワーク化を図る必要がある

スタート時点で、核となる部分は、各自治体等の強みや市地域資源の状況によって選択するのがよいが、最終的には、多機能拠点整備型も面的整備型も、**地域全体に広く展開するためには、地域の各分野の関係機関との連携が必要**である

好事例集 掲載自治体 一覧表

|                                           | 整備<br>類型 | 5つの機能                     |                             |                  |                      |               | 特 徴・付加機能等                                                                                         | コー<br>ディ<br>ネー<br>ター<br>配<br>置 |
|-------------------------------------------|----------|---------------------------|-----------------------------|------------------|----------------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
|                                           |          | ①相談機能<br>(基幹相談支援<br>センター) | ②緊急時の受<br>け入れ・対応<br>(空床確保数) | ③体験の<br>機会、場     | ④専門的人<br>材の確保、<br>養成 | ⑤地域の<br>体制づくり |                                                                                                   |                                |
| 1. 東胆振圏域(苫小牧市・白老町・厚真町・安平町・むかわ町)(北海道)      | 面        | ○                         | ○                           | ○                | ○                    | ○             | ・1市4町の東胆振定住自立圏の中核を担っている苫小牧市を中心に整備<br>・居住支援事業(相談支援員が物件情報収集、居住一覧表をHPに掲載等)実施                         | ○                              |
| 2. 塩竈市・多賀城市・松島町・七ヶ浜町・利府町(宮城県)             | 多        | ○(基)                      | (空: 拠点外 1)                  |                  |                      |               | ・県補助金活用で地域拠点センター設立。2市3町でNPO法人に運営委託<br>・緊急対応登録にショートステイ体験を条件づけ、サービス未利用者の体験機会につなげる                   | ○                              |
| 3. 東松島市(宮城県)                              | 面        | ○(基)                      | ○<br>(空: 拠点内 2)             | (未実施)            | ○                    | ○             | ・3か所の基幹相談支援センターがコーディネーター役<br>・グループホームと緊急保護室を備えた拠点施設を建設(震災仮設住宅からの住み替え)                             | －                              |
| 4. 会津若松市(福島県)                             | 面        | ○                         | (空: 拠点外 1)                  |                  |                      |               | ・地域生活コーディネーターが中核<br>・コールセンター設置(夜間、企業に取次業務委託)と相談サポーター(基幹相談支援センターから委嘱の関係者)による24時間対応相談体制             | ○                              |
| 5. 栃木市(栃木県)                               | 面        | ○(基)                      |                             | (検討中)            | ○                    | ○             | ・輪番制による緊急短期入所の受け入れ体制確保<br>・「とちぎシェアネット」で事業所の空き情報を常時共有<br>・自立支援協議会くらしWGメンバーが宅建協会と住む家を探すシステムづくりを検討中  | －                              |
| 6. 吉川市(埼玉県)                               | 面        | ○                         | (空: 拠点外 1)                  |                  | ○                    | ○             | ・地域生活支援拠点等の機能について、前身となる実績をもつ法人を核として整備<br>・障害の有無や種別を問わないフリースペースで一時的避難や潜在ニーズに対応                     | －                              |
| 7. 千葉市(千葉県)                               | 面        | ○                         | ○                           | ○                | ○                    | ○             | ・地域(緑区)と障害種別(知的)を限定したスモールスタート。四半期毎に検証を行い、新たな課題に対応<br>・緊急時の一次受け入れは市の空床確保、長期化対応は市域の短期入所施設           | ○                              |
| 8. 柏市(千葉県)                                | 併        | ○(基)                      | ○<br>(空: 拠点内 3<br>拠点外 2)    | ○                | ○                    | ○             | ・公募による2法人による地域生活支援拠点等がネットワーク構築の中心<br>・各法人の専門性による既存機能を活用(放課後デイ、就労継続支援等)                            | ○                              |
| 9. 新宿区(東京都)                               | 併        | ○                         | ○<br>(空: 拠点内 3<br>拠点外 3)    | ○                | ○                    | ○             | ・3 障害別の相談支援拠点事業所と基幹相談支援センターを地域生活支援拠点等と位置づけ<br>・相談支援専門員を増配置し土日相談を実施。緊急受け入れ先施設につなぐなどワンストップで対応       | －                              |
| 10. 八王子市(東京都)                             | 面        | ○                         | (検討中)                       |                  | ○                    | ○             | ・委託相談事業所5か所が地域生活支援拠点等のコーディネート機能をもつ<br>・家族のいる自宅で、自立支援のための生活体験を実施<br>・ピアカウンセラーによる地域移行支援を展開          | ○                              |
| 11. 川崎市(神奈川県)                             | 多        | ○                         | (空: 拠点外 8)                  | (市独自事業)          | ○                    | ○             | ・各区1 か所ずつ地域生活支援拠点等を整備予定(2 か所済))<br>・市のバックアップ体制が充実(市有地の無償貸与、専門的人材育成、こども食堂、しょうがい者サポーター養成講座等)        | －                              |
| 12. 小田原市(神奈川県)                            | 面        | ○                         | ○<br>(空: 拠点内 2)             | ○                |                      |               | ・専門性の高い分野を持つ事業所間での連携により総合的に対応<br>・市事業として小田原市障害児医療的ケア提供体制整備事業費助成金交付事業、高次脳機能障害への対応等                 | －                              |
| 13. 厚木市(神奈川県)                             | 面        | ○(基)                      |                             | ○                | ○                    | ○             | ・地域包括支援センターとの連携で高齢障害者への専門的な対応体制を確保<br>・緊急時対応として、夜間・休日を想定した対応プラン(仮称 安心生活支援プラン)を予め計画相談支援に組み込む       | －                              |
| 14. 長岡市(新潟県)                              | 併        | ○                         | ○                           |                  | ○                    | (検討中)         | ・地区ごとの相談支援事業所が中核となり、地域全体で支える体制づくり<br>・将来的には包括的相談支援体制を見据えて、他分野(高齢分野、保健分野等)と連携                      | －                              |
| 15. 上越市(新潟県)                              | 併        | ○                         | ○<br>(空: 拠点内 2<br>拠点外 1)    | ○                | ○                    | ○             | ・複数サービスを持つ法人の特性を生かし、相談→危機介入→再発防止まで一体的に運用<br>・市独自に強度行動障害対応スキルアップ研修実施                               | ○                              |
| 16. 北信圏域(中野市・山ノ内町・飯山市・木島平村・野沢温泉村・栄村)(長野県) | 併        | ○                         | ○<br>(空: 拠点内 2)             | ○                | ○                    | ○             | ・法人による地域生活支援拠点等に緊急対応コーディネーター、基幹相談支援センターに地域あんしんコーディネーターを配置<br>・「ハイリスク者登録台帳」(サービス未利用者)を整備し支援体制構築予定  | ○                              |
| 17. 静岡市(静岡県)                              | 面        | ○(基)                      | (H30 年度～)                   | (H30 年度～)        | (H30 年度～)            | (H30 年度～)     | ・障害者多機能施設を主要拠点として整備。 ・相談、緊急時の受け入れ、体験の機会の3機能の整備に主に取り組む<br>・コーディネーターを中心に事業所等関係機関をネットワーク化            | ○                              |
| 18. 大府市(愛知県)                              | 面        | ○                         | (H29 年度～)                   |                  | (市独自事業)              |               | ・地域生活支援事業の居室確保事業を活用し、通所施設での体験宿泊及び緊急宿泊の体制を整備<br>・市の単独予算で、行動援護従事者養成研修実施                             | －                              |
| 19. 堺市(大阪府)                               | 面        | ○(基)                      | (市独自事業で<br>空: 拠点外 2)        |                  | ○                    | ○             | ・各区障害者基幹相談支援センターと総合相談情報センター(市全体)が中核<br>・緊急時受け入れは、日中活動系サービス事業所とショートステイ事業所が連携。日中活動系サービス事業所職員が駆けつけ対応 | ○                              |
| 20. 豊中市(大阪府)                              | 多        | ○                         | ○                           | ○                | ○                    | ○             | ・民設民営で障害者支援事業と高齢者支援事業の多機能拠点型の地域生活支援拠点等施設を整備<br>・一人暮らし体験用「つながりルーム」設置 ・相談支援事業所ネットワークを中心とする地域の体制づくり  | －                              |
| 21. 西宮市(兵庫県)                              | 面        | ○                         | (空: 拠点外 1)                  | ○                |                      | ○             | ・体験の場(自立生活準備室)を「地域共生館(ふれぼの)」(社協)に付加<br>・基幹型相談支援センターが相談事業所を全面的にバックアップし、西宮市独自の「本人中心支援計画」を作成         | －                              |
| 22. 新見市(岡山県)                              | 面        | ○                         |                             |                  |                      | ○             | ・障害者地域活動支援センターがワンストップ窓口。4人の相談支援専門員がコーディネーター的役割<br>・同一建物に複数事業所が入り日常的に連携。警察とも事前に連携                  | －                              |
| 23. 松山市(愛媛県)                              | 面        | ○                         | (市独自事業)                     | (市独自事業)          | ○                    | ○             | ・3か所のワンストップの相談支援拠点<br>・市事業で、体験機会のための、松山市精神障がい者地域生活チャレンジ事業、虐待緊急受け入れに松山市障がい者緊急一時保護居室確保事業を整備         | －                              |
| 24. 福岡市(福岡県)                              | 併        | ○(基)                      | ○<br>(空: 拠点内 6)             |                  | ○                    | ○             | ・14 か所の区基幹相談支援センターが24 時間相談体制、ネットワークづくり、人材育成、地域のアウトリーチを行う中核。緊急時は専門性を有する3か所の短期入所施設が対応               | ○                              |
| 25. 大分市(大分県)                              | 面        | ○                         |                             | (市独自事業を<br>拡充予定) | ○                    | ○             | ・市直営の地域生活支援拠点等の事務局を設置し、緊急連絡体制整備<br>・緊急対応支援員(協力 20 法人による輪番制)が直接支援                                  | －                              |



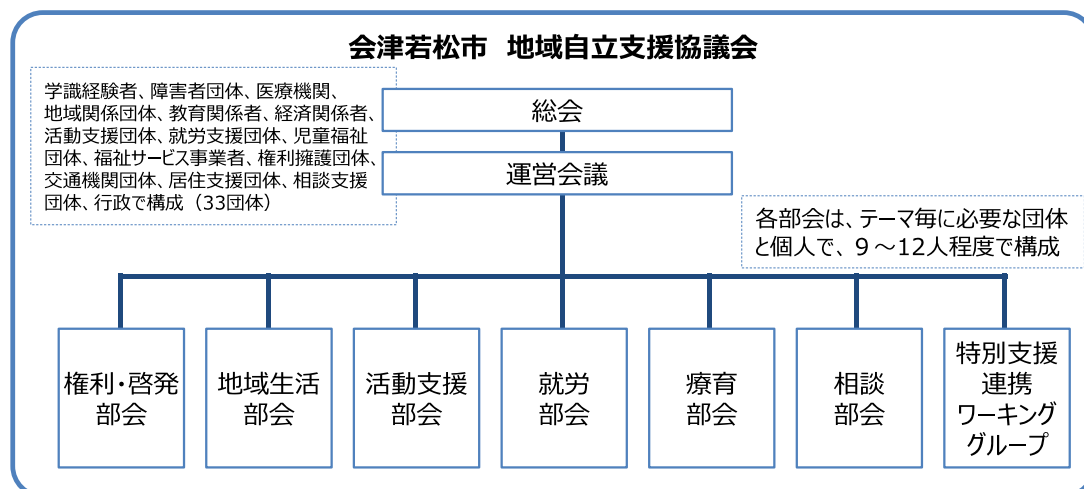
### ＜会津若松市の地域生活支援拠点等の特徴、工夫した点＞

- 地域生活支援コーディネーターを中核とし、専門機関が連携を図りながら取り組む
- 相談窓口を24時間対応とし、緊急時に備える
- 体験の場、緊急時受け入れ場所を各1室確保。緊急時受け入れは病院内に設置しているため、医療との連携も可能
- 基幹相談支援センター等を中心に、関係機関が集まる会議や研修の機会が多く、情報共有など地域の連携体制を構築
- 親亡き後の障害者本人の地域生活支援等を想定し、地域生活支援コーディネーターを中心とした実態把握、アセスメントや支援のプロセスが作られている

## 1. 当該市町村・圏域の基本情報

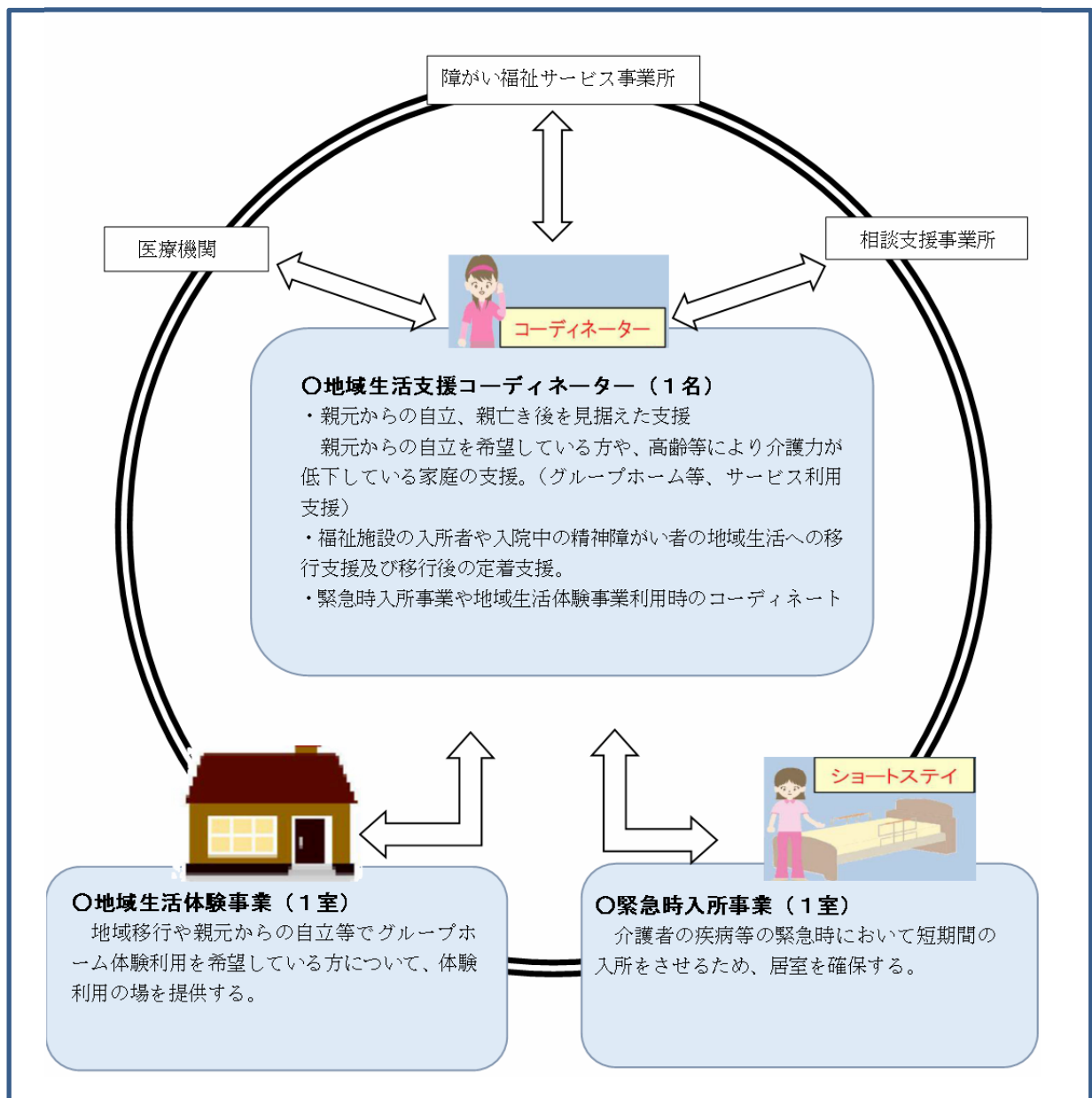
|                       |                                                                                                                                             |        |
|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 人口                    | 122,006人（平成29年6月末現在）                                                                                                                        |        |
| 障害者の状況<br>(平成29年4月現在) | 身体障害者手帳所持者                                                                                                                                  | 7,570人 |
|                       | 療育手帳所持者                                                                                                                                     | 966人   |
|                       | 精神障害者保健福祉手帳所持者                                                                                                                              | 830人   |
|                       | ・障害者数は9,366人（平成29年4月現在）<br>・圏域における中心的医療機関があることから、障害者数が増加傾向にある。<br>（平成25年4月：8,948人→平成29年4月：9,366人）<br>・地域の高齢化の進行から、障害当事者の高齢化及び介護者の高齢化が進んでいる。 |        |
| 実施主体                  | 社会福祉法人会津療育会（地域生活支援コーディネーター、基幹相談支援センター委託先）等                                                                                                  |        |

## 2. 地域生活支援拠点等の整備にあたってのプロセス





## イメージ図



### 3. 必要な機能の具体的な内容

## ① 相談機能

## ② 緊急時の受け入れ・対応

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|  |  |
|  |  |



### ③ 体験の機会、場

④ 専門的人材の確保、養成

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|  |  |

⑤ 地域の体制づくり

| Patient Information     |  |
|-------------------------|--|
| Full Name               |  |
| Date of Birth           |  |
| Gender                  |  |
| Address                 |  |
| City                    |  |
| State                   |  |
| Zip                     |  |
| Phone                   |  |
| Medical History         |  |
| Past Medical History    |  |
| Current Medical History |  |
| Allergies               |  |
| Medications             |  |
| Vital Signs             |  |
| Physical Examination    |  |
| Laboratory Tests        |  |
| Imaging Studies         |  |
| Diagnosis               |  |
| Treatment Plan          |  |
| Follow-up               |  |

## ⑥ その他

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|  |  |

## 4. 地域生活支援拠点等の具体的な活用事例

### <地域生活支援拠点等利用事例 1>

#### 利用者の属性

- ・40代男性。精神障害。

#### 利用した経緯

- ・現在、70代の母、50代のきょうだい（引きこもり）と同居。
- ・通院先医療機関から離れた山間の地域に居住しており、通院には非常に不便であること等から親亡き後は通院先医療機関の近くへの居住を漠然とイメージしている。しかし、精神疾患発症後は単身生活等を送ったことがないため、アパート等での単身生活が可能か、グループホームでの支援が必要か等をアセスメントするとともに、親元から離れた生活を体験するため、地域生活体験事業の利用に至った。

#### 利用の効果等

- ・5日間の体験利用を経験し、単身生活のイメージを持つことができた。
- ・食事の準備や栄養管理等に課題は残るものの、その他の家事や、日中活動であるデイケアへの通院も可能になった。
- ・親亡き後の居住の場について、本人がイメージを持つことができた。今後、冬場の積雪後にも体験を行い、具体的にどのような支援が必要かの検討を行う。

## 5. 地域生活支援拠点等の整備・運営における今後の課題・方針



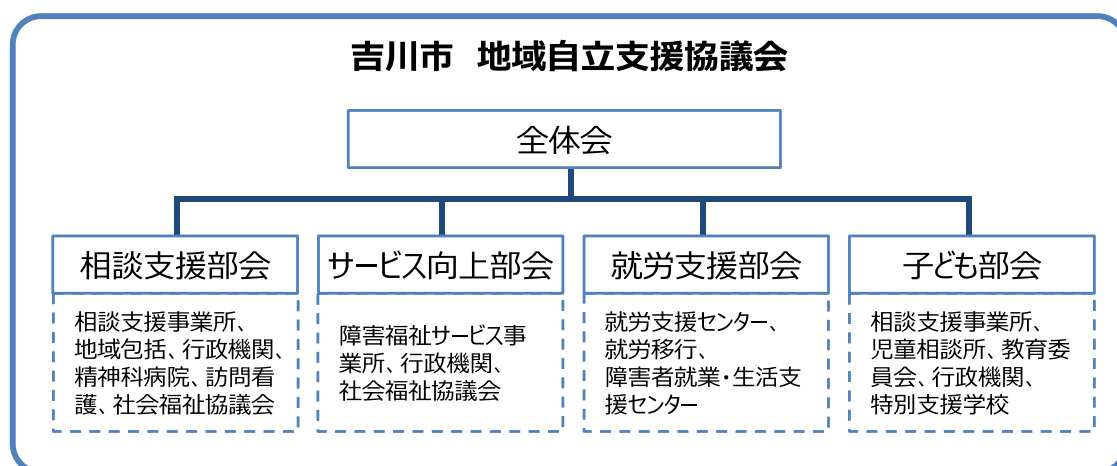
### ＜吉川市の地域生活支援拠点等の特徴、工夫した点＞

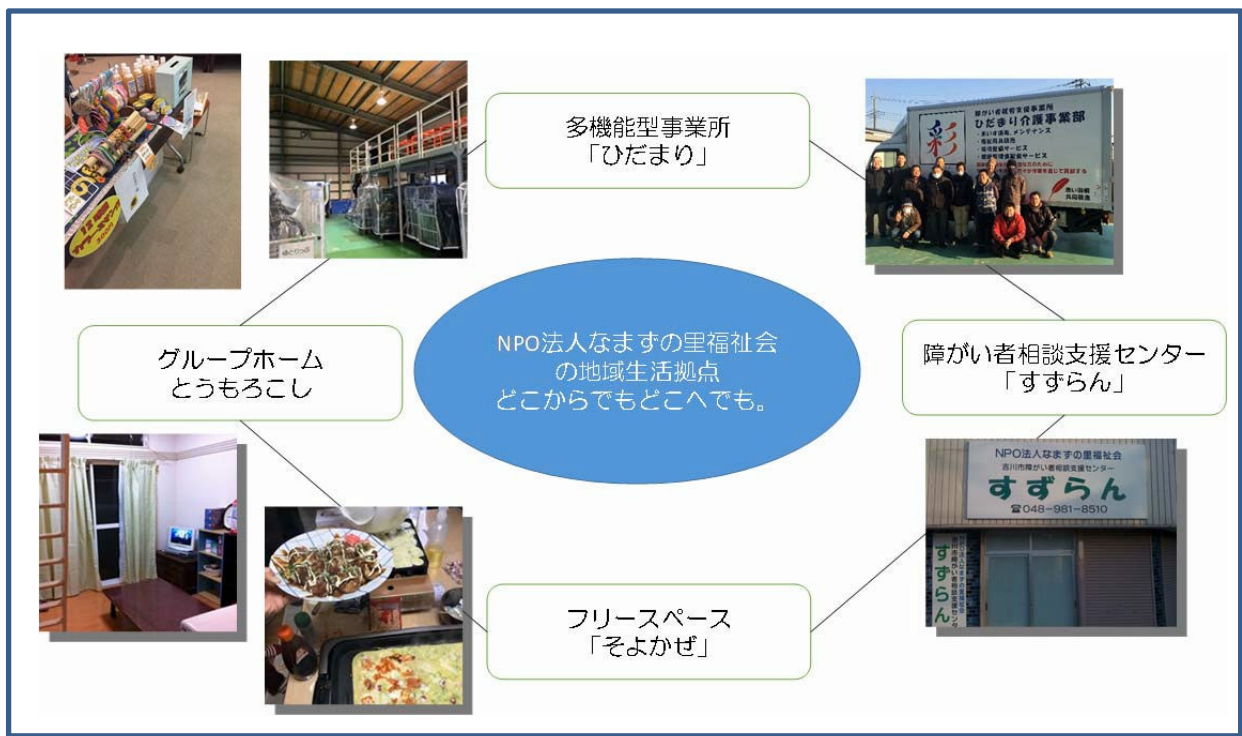
- 人口7万人という「オール吉川」で支えられる規模の利点を生かし、地域生活支援拠点等の機能について、前身となる実績をもつ法人を核とする面的整備型
- 地域生活支援拠点等の機能の狭間となる「障害の有無、障害種別を問わない緩やかな居場所」を独自に備え、潜在ニーズへの対応を充実

## 1. 当該市町村・圏域の基本情報

|                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                            |              |
|------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 人口                     | 72,311人（平成29年11月1日現在）                                                                                                                                                                                                                                                                      |              |
| 障害者の状況<br>(平成29年11月現在) | 身体障害者手帳所持者 1,742 人                                                                                                                                                                                                                                                                         | 療育手帳所持者 448人 |
|                        | 精神障害者保健福祉手帳所持者 416人                                                                                                                                                                                                                                                                        |              |
|                        | <p>・人口増加に伴い障害者数も増加傾向。特に、知的と精神が増加。<br/>           （障害者数 平成28年4月：2,507人→平成29年4月：2,562人）<br/>           （療育手帳 平成28年4月：419人→平成29年4月：436人）<br/>           （精神保健福祉手帳 平成28年4月：345人→平成29年4月：387人）</p> <p>・吉川美南駅周辺の戸建開発により、若い層の転入が増え、高齢化は緩やかだが、要介護認定件数は年々増加。</p> <p>・家族内に複数の障害者がいる世帯が多い傾向がみられる。</p> |              |
| 実施主体                   | NPO法人なまずの里福祉会                                                                                                                                                                                                                                                                              |              |

## 2. 地域生活支援拠点等の整備にあたってのプロセス





### 3. 必要な機能の具体的な内容

#### ① 相談機能





## ② 緊急時の受け入れ・対応

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|  |  |
|  |  |

### ③ 体験の機会、場



部屋入口から室内撮影



室内からキッチン・入口撮影

④ 専門的人材の確保、養成

[illegible]

## ⑤ 地域の体制づくり

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|

⑥ その他付加している機能



## 4. 地域生活支援拠点等の具体的な活用事例

### <地域生活支援拠点等利用事例 1>

#### 利用者の属性

- ・家族全員が障害者（父 50 代高次脳機能障害、母 50 代知的障害、子ども 3 人知的障害）子ども 2 人はグループホームへ入居。

#### 利用した経緯

- ・母は、父の病気をきっかけに精神障害を発症し、身辺動作も介助が必要な状況になり、高次脳機能障害の父は母を支えることはできない。子どもも両親の障害を受け止めきれず、暴力や暴言が絶えない状況であり、母は精神科病院に入院した。同居している子どもは、特別支援学校高等部卒業と同時にグループホームへの入居を目指し、グループホームの体験利用を行うこととなった。

#### 利用の効果等

- ・居宅介護の支援、地域定着支援を導入し、自宅にて夫婦で生活していくことを検討している。

### <地域生活支援拠点等利用事例 2>

#### 利用者の属性

- ・40 代女性、統合失調症で入院中。

#### 利用した経緯

- ・両親共に他界したため、他市に住むきょうだい夫婦宅に身を寄せるが、知らない土地での生活で精神症状は悪化し、入院となる。きょうだい夫婦は本人の状況から同居はできないと判断し、本人もこれまで住み慣れた吉川市での生活を希望。

#### 利用の効果等

- ・自宅生活かグループホーム（市内）かを検討している。

## 5. 地域生活支援拠点等の整備・運営における今後の課題・方針



障がい福祉総合支援センターなますの里



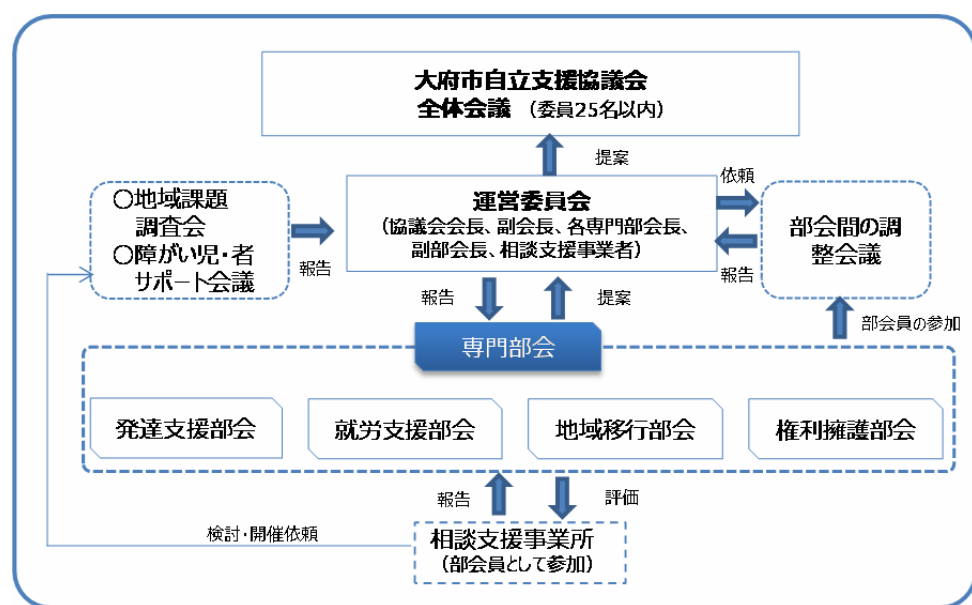
### ＜大府市の地域生活支援拠点等の特徴、工夫した点＞

- 現状の社会資源や制度を活用した面的整備型
- 緊急時の受け入れ・対応機能と体験の機会・場として、地域生活支援事業の居室確保事業を活用し、通所施設での体験宿泊及び緊急宿泊の体制を整備
- 市の単独予算で、行動援護従事者養成研修を実施

## 1. 当該市町村・圏域の基本情報

|                       |                                                                                                                                                                                                              |        |
|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 人口                    | 91,384人（平成29年3月末現在）                                                                                                                                                                                          |        |
| 障害者の状況<br>（平成29年3月現在） | 身体障害者手帳所持者                                                                                                                                                                                                   | 2,374人 |
|                       | 療育手帳所持者                                                                                                                                                                                                      | 592人   |
|                       | 精神障害者保健福祉手帳所持者                                                                                                                                                                                               | 687人   |
|                       | ・障害者数 3,653人<br>・自立支援給付のサービス支給決定者は450人程度。自立支援医療受給者1,191人。<br>・重度化が課題。重症心身障害児の対応である医療的ケアが、一番の課題。<br>・療育手帳所持者数及び人口に占める割合が増加傾向にあり、人口比では全国平均より高い。<br>（療育手帳所持者数と人口に占める割合 平成26年4月：543人（0.61%）→平成29年4月：592人（0.65%）） |        |
| 実施主体                  | 社会福祉法人、大府市障がい者相談支援センター、市内通所施設                                                                                                                                                                                |        |

## 2. 地域生活支援拠点等の整備にあたってのプロセス





### 居室確保事業の概要

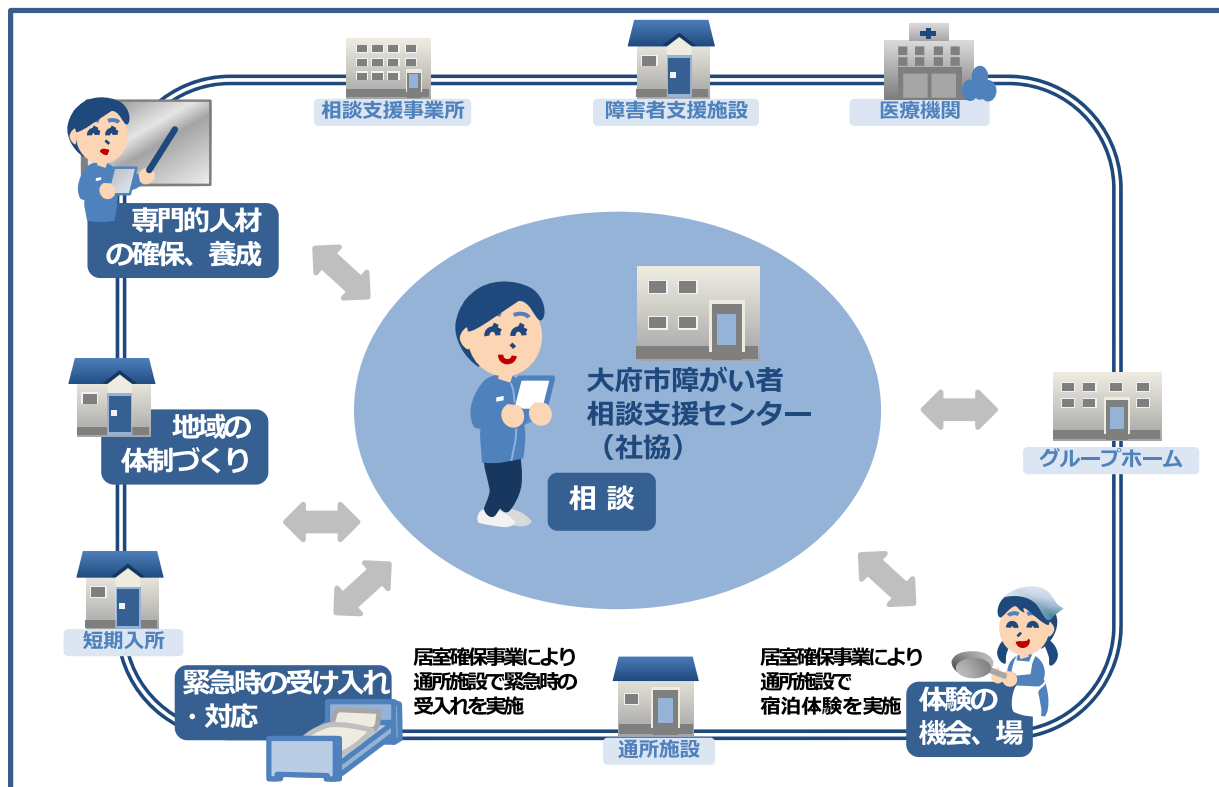
地域で安心して暮らすための支援体制を整備するため、障害者総合支援法第77条第3項の規定に基づき、地域において一時的な居室（以下「居室」という）を確保し、緊急一時的な宿泊又は地域での一人暮らしに向けた体験的宿泊を提供することにより、障害者等が自ら選んだ地域で暮らしていけるよう地域生活への移行及び定着を支援します。

#### 緊急一時的宿泊事業

事故、災害、出産、疾病、葬儀等の理由により、自宅で障害者等の家族等による介護等が受けられない者

#### 体験的宿泊事業

地域において自立した生活又は緊急一時的宿泊事業の事前登録のアセスメントを希望する場合



### 3. 必要な機能の具体的な内容

#### ① 相談機能

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|  |  |
|  |  |

## ② 緊急時の受け入れ・対応

### 居室確保事業「緊急一時的宿泊事業」利用方法（事務の流れ）

#### 1. 利用登録が完了している場合

- ①施設に利用の希望を連絡し、市役所にサービス支給の申請をする。
- ②施設が受け入れ可能日数を本人及び市役所に連絡する。
- ③市役所が緊急一時的宿泊の支給決定を行う。

#### 2. 利用登録がない場合

- ①希望する施設に受け入れ審査申込書・利用者基本情報シートを提出。
- ②市役所にサービス支給の申請をする。
- ③受け入れ可能施設が見つかった段階で、市が緊急一時的宿泊の支給決定を行う。

④緊急一時的宿泊事業を実施する。

**報酬単価及び利用者負担額**

1. 1泊 15,000円（午後4時～午前9時） 施設利用料  
\* 上記以外の時間帯または上記時間内に追加の人員配置をする場合 1時間1,700円
2. 利用者負担割合及び費用負担の上限額（月額）：基本は地域生活支援事業と同じ。  
市民税課税世帯 1割負担（37,200円）  
要保護世帯、市民税非課税世帯 無料  
\* 負担の上限額はその他にも定めがある。

### ③ 体験の機会、場

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|  |  |

|               |                                      |                            |                    |               |     |  |
|---------------|--------------------------------------|----------------------------|--------------------|---------------|-----|--|
| ふりがな          |                                      |                            | 男・女                | 平成 年 月 日生( 歳) |     |  |
| 氏名            | ( 音読み呼び名 )                           |                            |                    |               |     |  |
| 住所            | 〒      ー                             |                            | 電話番号<br>(携帯電話)     |               |     |  |
| 性別            | <input type="checkbox"/> 男           | <input type="checkbox"/> 女 | 手帳                 | 判定            |     |  |
| 障がい者<br>または病名 | 知的障がい、自閉症                            |                            | 病歴<br>(経過等)        |               |     |  |
| 障がい<br>程度区分   | 区分 1・2・3・4・5・6<br>(16歳未満 児童区分 1・2・3) |                            | 障がい<br>基礎・更生<br>年金 | 生活保護          | 有・無 |  |
| 親血<br>液検査     | 日中<br>( : ~ : )                      | 氏名 (続前 : ) 電話番号            |                    |               |     |  |
|               | 夜間<br>( : ~ : )                      | 氏名 (続前 : ) 電話番号            |                    |               |     |  |

| かかりつけの病院    |                                                              | 医療機関名                            |                                                                  | 診療科     |                                 | 主治医   |  |
|-------------|--------------------------------------------------------------|----------------------------------|------------------------------------------------------------------|---------|---------------------------------|-------|--|
| 既往歴         |                                                              | 過去2年間の入院 有・無<br>具体的に：<br>手術（有・無） |                                                                  | 現在の治療内容 |                                 |       |  |
| てんかん<br>有・無 | 頻度                                                           |                                  | アレルギー<br>有・無                                                     | 薬       | 処方された薬、牛乳・小麦粉その他<br>禁忌食品等を具体的に： |       |  |
|             | 発作の様子                                                        |                                  |                                                                  | 症状      |                                 |       |  |
|             | 薬の服用状況等                                                      |                                  |                                                                  | 病歴      |                                 |       |  |
| 服薬          | ① 安定剤                                                        | (朝・昼・夕・寝る前)(食前・食間・食後)            |                                                                  |         | 平量                              | ℃     |  |
|             | ②                                                            | (朝・昼・夕・寝る前)(食前・食間・食後)            |                                                                  |         | 身長                              | cm    |  |
|             | ③                                                            | (朝・昼・夕・寝る前)(食前・食間・食後)            |                                                                  |         | 体重                              | kg    |  |
|             | ④頓服薬                                                         | (朝・昼・夕・寝る前)(食前・食間・食後)            |                                                                  |         | 喫煙                              | 有 ( ) |  |
|             | ⑤座薬                                                          | (どんな時) (どれだけ)                    |                                                                  |         | 飲酒                              | 有 ( ) |  |
|             | 服薬についての注意事項： 服薬介助必要                                          |                                  |                                                                  |         |                                 |       |  |
| 食事          | ⑥減量                                                          | ※基準値1杯(約160グラム)が1日以上可            |                                                                  |         |                                 |       |  |
|             | 食事制限への対応                                                     | 菜                                | (全て・固い物のみ・野菜のみ・肉魚のみ)<br>(一口大・細切り・粒さざり・ペースト・液体栄養食)<br>(お好み類：菜・不菜) |         | 不適                              |       |  |
| 1日の生活リズム    | 好きな食べ物                                                       |                                  | 苦手な食べ物                                                           |         |                                 |       |  |
|             | <div><div>7:007:3010:0012:0014:0016:0018:0020:00</div></div> |                                  |                                                                  |         |                                 |       |  |
|             | 普段の生活で町やそこへ、何屋へ行く。友達との役割など。                                  |                                  |                                                                  |         |                                 |       |  |

[illegible]

#### ④ 専門的人材の確保、養成

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|  |  |

#### ⑤ 地域の体制づくり

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|  |  |

#### ⑥ その他付加している機能

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|  |  |



## 4. 地域生活支援拠点等の具体的な活用事例

### <地域生活支援拠点等利用事例 1>

#### 利用者の属性

- ・知的障害者。母親と2人世帯。

#### 利用した経緯

- ・母親の入院に伴い、利用者本人がいつも利用している事業所で、3日連続でみてもらいたいとの申し込みがあった。

#### 利用の効果等

- ・障害者を介護している母親が急遽入院となったが、緊急の対応が可能であったことと、本人にとってはいつも利用している施設での緊急宿泊だったため、落ち着いて過ごすことができた。また、本人だけでなく介護者である母親も安心して入院することができた。

## 5. 地域生活支援拠点等の整備・運営における今後の課題・方針

| 平成30年度 第6回 相談支援部会 報告 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日 時                  | 平成30年10月26日(金) 16:00～17:15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 場 所                  | 千歳市しあわせサポートセンター 会議室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 参 加 者                | 千歳地域生活支援センター(奥貫センター長(部会長)・福澤相談員)、こども療育課(石村相談員)、こぶしクリニック(松田相談員)、向陽台包括支援センター(林センター長)、夢民(長谷氏)、千歳市障がい者総合支援センターChip(横山センター長・中土井相談員)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 要 旨                  | <p>1. 障がい福祉勉強会について</p> <p>2. 地域課題について</p> <p>3. その他</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 会議内容                 | <p>1. 障がい福祉勉強会について</p> <p>(1)10月12日開催。「就労支援について学ぼう」とテーマを設定し、就労継続支援A型、B型、就労移行支援について基礎の理解を目的として行われた(参加者50名)。前半、千歳地域生活支援センター渡辺氏より各サービス内容の講義を行った後、後半は事業者の実践報告を、B型をサークルエイト青木氏、A型をひまわりの会稲船氏、移行をいずみワークセンター玉井氏に頂いた。全体的な利用者の傾向としてお金の為に働くという意識はあまりなく、就労意欲に欠ける利用者も多いとのこと。その後、講義を踏まえてグループワークをし勉強会を終えている。勉強会後の懇親会にも20名ほど参加している。今後、住居、相談についての勉強会を予定している。</p> <p>2. 地域課題について</p> <p>(1)震災対策について、幸いにして多くな被害のなかった千歳市ではあるが、経験を活かし今後の活かしていく事が必要との意見があり、情報共有や課題整理について継続して検討して行く事を話合った。</p> <p>避難所の情報やインフラについてなど、災害時の情報発信の仕方にもついでの検討も含めて次回以降に事例検討も検討して行く事で確認をした。</p> <p>3. その他</p> <p>(1)次回は11月21日か27日の日程で調整を行う。</p> <p>(2)合同説明会についての案内</p> |
| 作成者                  | 千歳市障がい者総合支援センターChip 横山 真紀                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

| 平成30年度 第7回 相談支援部会 報告 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日 時                  | 平成30年11月27日(火) 16:00～17:15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 場 所                  | 千歳市しあわせサポートセンター 会議室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 参 加 者                | 千歳地域生活支援センター(奥貫センター長(部会長)・福澤相談員)、こぶしクリニック(松田相談員)、夢民(戸田氏)、向陽台包括支援センター(林センター長)、北星病院(水梨相談員)、千歳市障がい者総合支援センターChip(横山センター長・中土井相談員)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 要 旨                  | <b>1. 障がい福祉勉強会について</b><br><b>2. 地域課題について</b><br><b>3. その他</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 会議内容                 | <b>1. 障がい福祉勉強会について</b><br>(1)第3回目は住居についての勉強会を予定している。福祉サービスで利用できる住居について講義を行い、各障がい(精神・知的・身体)を主たる支援対象としている事業者から実践報告をしてもらう形式とした。講義部分を青葉の里の稲富氏、実践報告をそれぞれ(精神:グループホーム新星 山崎氏・知的:いずみ学園 仲鉢氏・身体:めいぶる高橋氏)に依頼した。現段階の申し込み状況は6名であり、さらに周知を継続する。<br><br><b>2. 地域課題について</b><br>(1)課題共有シートを使用し事例検討を行った。 <p>①「アパートで一人暮らしをしている方の支援で、関わりを拒否する方の支援で複数機関が関わっている場合にどの機関が主になり、どのように関わるとよいか」との課題が出た。これに対し、周りから見ると心配だが本人が困っていない為に助けを必要としていないのではないか、困り感を感じて本人から助けを求めてくるまでは見守り程度で良いのではないかと意見が出た。一定期間通院しなかった場合に連絡をする、定期的に安否確認する体制をあらかじめ各機関で決めておくなどの方法が考えられるとの意見がでた。電気メーターや水道メーターは所在・安否が確認しやすく、状況が把握しやすい。また近隣の住民が日常的に見守ってくれている事例もある様子。いずれかの機関が介入し対応する場合、土日夜間に毎回対応するのは難しいので、本人が自分で対応してゆける力をつけてもらうことも大切である。そうしてゆくことで担当者の変更等、体制が変わっても順応して対応できると考えられるとの意見も出ている。</p> <p>②生活が上手くいかない時に本人の問題か支援の問題かの判断が難しい時でも、本人は自分らしい生活をしていきたいという気持ちで生活される時に、支援者としてアドバイスに苦慮するとの意見があり、今の生活に対しての良し悪しや、できたことできなかったことの両方がある中で、「福祉だけ、医療だけではなんともならない」「人材が足りない」「本人のエンパワメントが足りなかった、または途中だった」など様々な課題があり、結果を見て良し悪しのジャッジをしてしまうと問題の追及する方向が偏ってしまう恐れがあると考えられる。いろいろな角度で考えられる場があるので、判断を急がずに経過を確認していくことも大切ではないかと意見がでた。</p><br><b>3. その他</b><br>(1) 次回は年始の1月の中旬の日程で調整を行う。 |
| 作成者                  | 千歳市障がい者総合支援センターChip 横山 真紀                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

| 平成30年度 第3回 相談支援部会 障がい福祉勉強会 報告 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日 時                           | 平成30年12月14日(金) 18:00~20:00                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 場 所                           | 千歳市社会福祉協議会 2階会議室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 参 加 者                         | 市内22機関39名(事務局含む)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 要 旨                           | <p>1. 講義</p> <p>2. 実践報告</p> <p>3. 交流会</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 会議内容                          | <p>【テーマ】「障がい者の住まいと必要な支援について学ぼう！」</p> <p>1. 講義「障がい者が利用できる居住系サービスについて」<br/>社会福祉法人 晃裕会 稲富 裕幸 氏<br/>実践報告の前段として、居住資源の共同生活援助、宿泊型自立訓練施設、施設入所支援、短期入所について講演頂く。共同生活援助(グループホーム)については、介護サービス包括型、外部サービス利用型、今年度から新設された日中サービス支援型、サテライト型住居の説明があった。施設入所支援とグループホームの違いや、障がい福祉サービス以外に市営住宅等の住まいの方の支援についても話しがある。障がい者の住まいを考える際、その方の現状や必要な支援を考慮することが大切であるとお話を頂いた。</p> <p>2. 実践報告</p> <p>(1)障がい者支援センター めいぷる 高橋 和寛 氏<br/>めいぷるの設立経緯について、肢体不自由児父母の会が母体であり、共同作業所立ち上げ時は知的障がいや精神障がいの方の行き場を増やす為、3障がいを対象として設立し現在は4つの事業を行なっている。グループホームについては現在入居している方の状況を説明され、電源コンセントの位置を高くし、床でくつろぐ入居者が触れないようにしていることや、プライバシーの配慮から居室や下駄箱に名前は明記せず、色分けするなどの配慮を行なっていると話しがあった。また、支援の課題として、緊急時対応、健康維持・管理、介護技術の向上、平準化の3点挙げられている。実際の生活場面の画像等で、支援の状況や生活の様子について説明があった。</p> <p>(2)いずみ寮 仲鉢 かおり 氏<br/>はじめに概要として、現在グループホームで生活している方の年齢や日中活動先、職員の配置などについて説明があった。入所施設から生活の場をうつしてきた方が多いなか、近年は高等養護学校卒業に利用される方も増えており、大きな環境変化のため体調を崩し退所された方もいる。夜勤態勢は取っていないため、夜間の緊急時は職員の携帯に連絡することになっている。これまで通院は職員が同行していたが、現在は看護師を配置していると話しがあった。また9月6日の震災時については、食材の確保が困難で同法人の事業所間で分け合った。課題として、利用者の高齢化、夜勤態勢を取っていないことを挙げられている。</p> |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | <p>(3)グループホーム新星 山崎 将史 氏</p> <p>施設・設備の紹介がある。新星に入居している利用者の多くは精神科病院を退院してきた方で、入浴は毎日可能で順番も自由であり利用者同士で決めている。利用者のニーズに合わせた支援体制をもとに、自宅に近い環境作りや必要以上に干渉しないようにしている。生活している利用者は個室でプライベートの時間を大切にでき、入院中とは違った自由な生活を喜んでいる。グループホーム開設時には、反対の声や町内の行動を制限されていた。グループホーム職員が町内会役員になり、話し合いの場やつながりを持つことで解消されたとの話があった。</p> <p><b>3. 交流会</b></p> <p>1 グループ7、8名の6グループに分かれ講義、実践報告終了後に交流会をしている。各グループでファシリテーターの進行のもと、自己紹介、講義、実践報告を行い、最後に感想を全体で共有している。</p> <p>アンケート集計結果。</p> <p>(1)講義・実践報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居住系サービスの種類を知ることができて勉強になった。</li> <li>・なかなか具体的に聞く機会はなく、職員からの生の声で聞くことができて良かった。</li> <li>・安全面に配慮した設備等、具体的な話を聞くことができて参考になった。</li> <li>・各事業所の特色、苦労や工夫、支援の方法がとても参考になった。</li> <li>・精神障がいの偏見について、改めて考えさせられた。</li> </ul> <p>(2)交流会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な職種の方の意見、施設の様子を聞くことができて良かった。</li> <li>・講義、実践報告よりさらに具体的な部分や、理想についてなどそれぞれの思いも聞くことができて良かった。</li> <li>・グループホーム、就労事業所の両方の話を聞くことができた。連携の大切さを改めて感じた。</li> <li>・もう少し時間があれば良かった。</li> </ul> <p>(3)今後取り上げてほしいテーマ等について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共生型サービスについて</li> <li>・精神科病棟について</li> <li>・就労継続支援 B 型事業所、就労移行支援事業所で、グループホームの生活で活かせるような支援について</li> <li>・保護者と過ごしている利用者本人に、将来の生活を考えてもらうにはどうしたらよいか。 等の意見・感想を頂いている。</li> </ul> |
| 作 成 者 | 千歳市障がい者総合支援センターChip 横山 真紀                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

| 平成 30 年度 第 5 回 こども部会 報告 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日 時                     | 平成 30 年 12 月 20 日(木) 10:00~11:00                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 場 所                     | 千歳市総合福祉センター 307 号室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 参 加 者                   | サポートセンターエブリ(田口所長(部会長))、ライフヘルプちとせ(熊谷氏)、ちとせ療育教室はる(石岡氏)、児童デイサービス十彩(藤田氏)、児童デイサービスみどり台(浅野氏)、千歳市社会福祉協議会(田村氏)、北海道南幌養護学校(中川教諭)、こども療育課(新谷課長)、障がい者支援課(石黒氏)、千歳市障がい者総合支援センターChip(横山センター長(事務局次長)・志鎌相談員)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 要 旨                     | <b>1.勉強会(学校見学会)について</b><br><b>2.合同説明会について</b><br><b>3.レッツスマイル冬企画</b><br><b>4.情報提供(課題共有)</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 会議内容                    | <b>1.勉強会(学校見学会)について</b><br>11月28日(水)開催した、支援者向け勉強会(学校見学会)について参加者から感想を聞いている。福祉バスを利用し、午前に北海道南幌養護学校、午後から千歳高等支援学校の見学を行なっている。24名参加している。<br>・午前午後参加したかったが、時間の制約もありむずかしかった。<br>・午前午後交代で参加し、職員間でそれぞれの学校の様子などフィードバックすることができた。<br>・就学に向けての動きなど知ることができて勉強になった。<br>・以前関わっていたこどもや、寄宿舎を見ることができた。<br>・またこのような機会があれば参加したい。<br>・個別での対応も可能とのことで、学校への相談の敷居が低くなった。<br>・移動時間や見学の時間設定など、より詳細に検討していく。<br>等の意見・感想が出ている。<br><br><b>2.合同説明会について</b><br>12月22日(土)開催の合同説明会について当日の動きを確認している。10時に集合し会場設営、開催時間は11時~15時。事業所個別相談は、北ガス文化ホール4階小会議室1で行なう。当日は8事業所が参加、小会議室2は待ち合いの部屋としてパンフレット・掲示物を設置。昨年度「わからないこと解決講座」の際に使用した、事業所紹介のデータをモニターで映写する。<br><br><b>3.レッツスマイル冬企画</b><br>1月12日(土)開催の進捗確認をしている。午前中はボウリングと千歳市さけますの森さけます情報館見学の2コースに分かれる。午後からは福祉センターに戻り、 |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | <p>昼食後にマジックを見る。チラシの配布は終了している。当日スタッフは9時に福祉センター集合。9時半から参加者の受付開始、移動は福祉バス1号車を利用する。ボランティアは、市内と近隣の高校・専門学校・大学に依頼中。構成メンバーのスタッフとしての当日参加については、改めてメール等で確認する。今後の動きとして、1月8日(火)、9日(水)10時からマッチング会議、最終確認会議を行なう。会議終了後、参加者に最終案内を送付する。</p> <p><b>4.情報提供(課題共有)</b></p> <p>(1)事業所空き情報について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ゆうび 日中一時：月～土空き有。移動支援：月水空き有。火木金土応相談。</li> <li>②ライフヘルプ 日中一時：月火水木空き有。移動支援：月火木金空き有。水士日は応相談。</li> <li>③エブリ 日中一時、移動支援共に空き無。</li> <li>④ぱすてる 児童発達：月～金空き有。放課後デイ：月～木空き有。送迎は応相談。</li> <li>⑤はる 児童発達：月～金午前空き有、午後応相談。放課後デイ：月～金応相談。</li> <li>⑥みどり台 児童発達、放課後デイ共に金土空き有。</li> <li>⑦ラブアリス 児童発達、放課後デイ共に金空き有。1月21日(月)別館オープン。</li> </ul> <p>(2)情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①みどり台 12月26日(水)青少年会館でNPO法人日本ムーブメント療育協会北海道支部 森正人氏によるムーブメント療育の講演が行われる。</li> <li>②こども家庭課 3月1日(金)～3日(日)北ガス文化ホールで指導者・支援者向けの子育てスキルアップ講座が行われる。案内チラシを合わせて配付している。</li> </ul> <p>(3)課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①市外、道外からの転入後についての相談が増加している。どのような事業所があるのかや学童利用も検討している方がいる。</li> <li>②不登校気味の児童・生徒が増加している。</li> <li>③児童の短期入所施設、重症心身障がいの方や医療ケアが必要な方の受け入れ施設について。</li> <li>④高等支援学校、高等養護学校の進路選定について。</li> </ul> <p>(3)次回開催について</p> <p>2月21日(木)10時～開催する。</p> |
| 作 成 者 | 千歳市障がい者総合支援センターChip 横山 真紀                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

| 平成 30 年度 第 4 回 はたらく部会 報告 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日 時                      | 平成 30 年 11 月 16 日(金) 18:00～19:00                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 場 所                      | 東雲会館 1 号室                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 参 加 者                    | 27 名<br>メビウス(加藤)、ゆうび(寺島)、エコファクトリー(結城)、千歳高等支援学校(内山) 帆の風(藤岡)、石狩障がい者・生活支援センターのいける(菅原)、オルポノ(佐藤)、青葉の杜(田本)、いずみワークセンター(今野)、ひまわりの会(上田)、晴レルモキッチン(米澤・福田)、0m-net(牧野・橋本)、千歳物流センター(佐々木)、ピアハープ(山下)、蓮げ荘(森本)、デイケアひかり(澁谷)、ハローワーク(酒井)、千歳地域生活支援センター(渡辺)、千歳市障がい者総合支援センターChip(横山・中村)、サークルエイト(青木)、ウィンドバレー(千葉)、こぶしクリニック(松田)、就労推進室やませみ(佐藤・下川部) |
| 要 旨                      | <b>1. 報告事項</b><br>(1) 利用者が就労を休まず継続していけるよう取組む提案<br>(2) 合同説明会について<br><b>2. その他連絡事項</b>                                                                                                                                                                                                                                   |
| 内 容                      | <b>1. 報告事項</b><br>(1) 利用者が就労を休まず継続していけるように取組む提案<br>～就労を継続していくための独自見解～<br>エコファクトリー 結城 様からエコファクトリーで取り組んでいる、仕事の仕組みやルールなどを説明いただいた。<br>(2) 合同説明会について<br>タイムスケジュール、会場配置図、事業所リスト名簿配布、一日の流れの確認<br><b>2. その他連絡事項</b><br>なし                                                                                                      |
| 作 成 者                    | 就労推進室 やませみ 佐藤 靖子                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |



| 平成 30 年度 千歳市障がい福祉就労事業所合同説明会 報告 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日 時                            | 平成 30 年 12 月 22 日(土) 11:00~15:00                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 場 所                            | 北ガス文化ホール(千歳市民文化センター)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 参 加 者                          | <p>65 名</p> <p>帆の風(藤岡・小林・大谷・高橋・阿部)、Om-net(牧野・橋本)、ウィンドバレー(千葉・山端・岩崎・八木・押木・今井・山本)、いずみワークセンター(今野)、物流センター(木村・佐々木・中村)、ピアハープ(猿山)、サークルエイト(青木・畠山・柳井・金澤)、デイケアひかり(澁谷)、リワークデイケア(菊池・川田)、晴レルモキッチン(米澤・米澤・川口・園田・福田)、ミナモト(今井・鳴海)、千歳公共職業安定所(酒井)、ひまわりの会(稲船・村田・三上・佐藤)、メビウス(加藤)、エコファクトリー(結城・平本・石川)、ユリーカ(芦田・吉村・有村)、青葉の杜(田本)、オルポノ(有田・有田・佐藤)、蓮げ荘・CafeLeaf(森本・相澤)、ワンステップ(眞鍋)、千歳こぶしクリニック(松田)、ゆうび(山崎・藏田)、ゆみな(畑中・菊池)、千歳地域生活支援センター(渡邊・福澤)、千歳市障がい者総合支援センターChip(横山センター長(事務局次長)・中土井・志鎌)、障がい者支援課(佐藤係長(事務局次長))、就労推進室やませみ(佐藤・下川部)</p>                                                                                                                                                                                                 |
| 開 催 内 容                        | <p>1. 開場時間 11:00~15:00</p> <p>2. 開催場所 北ガス文化ホール(市民文化センター)</p> <p>2. 来場者数 合計 120 名</p> <p style="padding-left: 40px;">保護者・本人・一般 55 名</p> <p style="padding-left: 40px;">関係者・事業所 65 名</p> <p>3. 結果概要</p> <p>(1) 来場者数が昨年度から 23 名減になった。</p> <p style="padding-left: 20px;">原因として 3 連休の初日だということと、年末だったためだと思われる。</p> <p style="padding-left: 20px;">来年度は、年末ではなく昨年度同様 12 月初旬に開催したい。</p> <p>(2) アンケートでは、千歳市の事業所が一同に集まっていて一つ一つの事業所の話が詳しく聞けるので、行って良かったと思ったという意見があった。</p> <p style="padding-left: 20px;">また、アンケートの中で多かった意見は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いろいろな就労支援の仕組みを聞いてよかった</li> <li>・ 就労支援について理解を深められた。</li> <li>・ それぞれの事業所のスピーチがあればよかった。</li> <li>・ 今後もこのような説明会を開催してほしい。</li> </ul> |
| 作 成 者                          | 就労推進室 やませみ 佐藤 靖子                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |